



The YMCA Journal

December, 2009 創刊号

■発行/一般財団法人鹿児島YMCA 〒890-0056鹿児島市下荒田2-39-22 Phone099-285-0700 ■発行人/谷村義博 ■2009年12月15日発行(毎月1回発行) ■定価50円(送料76円) ■www.kagoshima-ymca.org

保存版 創立特集 記念特別号

20年の念願叶い鹿児島YMCAが誕生!!

1884年、イギリスで12人の若者たちによって灯された火が、155年経った今鹿児島島の地に灯された



10月14日(水)、鹿児島YMCAの創立記念式典が鹿児島市の南日本新聞社みなみホールで行なわれ、地元から伊藤祐一郎鹿児島県知事、森博幸鹿児島市長をはじめ、全国からの来賓約300人が出席、熊本YMCAからは大型バスで参加するなど盛大かつ厳かに執り行われました。

記念式典は、華やかに着飾ったYMCAインターナショナルスクールPTAのお母さんや鹿児島ワイズメンズクラブのメンバーが受付を担当し、来場者を温かく迎えました。午後4時40分から記念礼拝は元MBCアナウンサーで中松禎夫評議会副会長の司会で始まりました。鹿児島友義常議員会副議長の祈祷の後、日本バプテスト伊集院キリスト教会の麦野賦牧師が「幸せの一步」という題で『鹿児島YMCAが成功するために、大切なことは成長させてくださるのは神ご自身である。そのために私たちは、ひとつにならなければならない』と説教されました。

記念礼拝の後、午後5時15分からの記念式典は、知事、市長を始め、原田耕蔵鹿児島県教育長、中川善博日本YMCA同盟理事長、島田茂同盟総主事の来賓と鹿児島YMCAの役員が壇上に並びました。

最初に、司会を務めたエフエム鹿児島アナウンス室長の中村香会員が、YMCAインターナショナルスクールのリトルエンジェルスを紹介。かわいい歌声が会場を和やかな雰囲気包み込んだ式典となりました。

式典では鹿児島YMCAを代表し、田上容正評議会会長が挨拶しました。会長は随分前、YMCA阿蘇キャンプに参加したアメリカ女性が「I am third」と木版に彫りこんだエピソードについて触れ、私たちは人のために働き、自分のことは後にしようと会員に呼びかけました。

その後、来賓挨拶のトップに立った伊藤鹿児島県知事は、用意された原稿ではなく、ご自分の言葉で話されたことが印象に残ります。アメリカに滞在していた当時のYMCAでの体験

談を話し、YMCAに対する深い理解を示され関係者に感動を与えました。

さらに鹿児島市長と中川同盟理事長が来賓としての挨拶が続きました。(来賓挨拶の主旨は本誌2面に掲載)これらのメッセージは、今後の鹿児島YMCAの働きに対し、期待と熱意が込められた内容であり、関係者はもとより、全国のYMCA関係者にとって大きな勇気と期待を与えられました。

最後は主催者側を代表して鹿児島YMCAの谷村義博総主事事務取扱兼代表理事から、設立までの20年間の歴史と経過の報告がありました。その中で、鹿児島ワイズメンズクラブのメンバー、設立に尽力をいただいた堤弘雄熊本YMCA総主事、法人協賛会のきっかけとなった日本ガス佐藤敏郎会長に感謝のお礼を述べました。そして午後6時、35番目のYMCA創立式典が閉幕しました。

多くの同志とゲストが共に、祝福と美酒に酔った祝賀会

記念式典に参加した多くのゲストが会場への移動と、また職場から祝賀会に直接向う人々で、会場受付は熱気でごった返していました。

会場になった鹿児島サンロイヤルホテルでは、鹿児島YMCA創立記念祝賀会が、午後6時30分伊藤知事がテーブルに着席と同時に、全国的な知名度を持つ小学生のジャズバンド「リトルチェリーズ」の軽快なスイングなリズムのオープニング曲で開宴しました。

最初に挨拶に立った徳田稷常議員会議長が、式典のプログラムに掲載された20年前鹿児島にワイズメンズクラブ設立とYMCA設立期成会のモノクロ写真に、自分の亡父と母親が写っていることを話題に持ち出されました。この親子2代にわたって鹿児島YMCA設立に参加したという事実は、来場者に感動を呼び起こしました。

来賓を代表して挨拶された島田茂日本YMCA同盟総主事は、明治維新当時の歴史に見識が深いだけに、鹿児島が生んだ偉人や史実を通して青少年教育の重要性と、これからのYMCA活動のあり方の指針を示されました。

食前感謝は、意外性を狙った演出。インターナショナルスクールの戎夏和ちゃんが英語で感謝を



捧げ、アメリカ人のダニエル先生が流暢な日本語で通訳する、とてもキュートなお祈りでした。

乾杯の音頭は、日本YMCA同盟勝田正佳常議員会議長が、ジョージ・ウィリアムスがロンドンで灯した小さな火が長い年月を経て、鹿児島に灯されたとお祝いの言葉を述べられ、楽しい祝宴が始まりました。地元の人、県外から来た人、多くの人々が交わりを持ち新しい門出を祝しました。

祝賀会のパフォーマンスには「リトルチェリーズ」以外に、ゴスペルシンガーグループや県外からのゲストをもてなすために、島歌や踊りが披露されました。午後9時、柳正保常議員が役員を代表して閉会の辞を述べ、鹿児島YMCA設立の記念すべき歴史の一日が終わりました。

来賓からいただいた、心のこもった祝福のメッセージ(抜粋)を紹介

青少年に奉仕の精神の教育を

鹿児島県知事 伊藤祐一郎さん



世界最大のボランティア組織として多様な活動をしているYMCAが鹿児島に設立されることは、私にとりましても大変喜ばしいことです。

アメリカで半年ほど過ごした中で、YMCAの「みんながみんなのために奉仕する」姿勢には、驚きと感銘を受けました。アメリカでは人が訪ねて来ると、「ご用件は?」とは聞かず、「What can I do for you?」と聞きます。「あなたのために何ができますか?」は、キリスト教教育に根ざすものですが、この考え方はNPOの国アメリカ社会の潤滑油となって、あらゆるところで奉仕活動として盛んに行われています。

鹿児島にも昔から「結」の思想や、集落では支えあう組織があったにもかかわらず、今は壊れつつあるのが現状です。私は就任以来、「共生協働による地域社会作り」を掲げています。みんなが社会の一員として新しい地域社会を作る…、個人が社会のために何が貢献できるかを考える地域社会作りを目指しています。みんなで支え合うことは、高齢化社会、人口減少を迎える今、特に必要です。

鹿児島YMCAの諸活動の中で、これからの地域社会作りになにが必要か、焦点をよく見極めて活動していただくことはもちろん、「地域社会のために何ができるか」を考えることのできる、「私に何ができますか?」の精神を復興する青少年教育活動を心からお願いしたいと思います。



鹿児島独自の活動に期待

鹿児島市長 森博幸さん

(代読 / 松木園富雄副市長)



現在、世界では環境問題をはじめ、エネルギー問題、貧困格差の拡大、国家や民族間の絶え間ない紛争など、ひとつの国や地域だけでは解決できないような諸問題が数多くあります。

そのような中、青少年の健全育成やボランティア活動等における社会貢献活動をはじめ、国際理解等を通じて国際社会の発展に貢献してこられた、歴史あるYMCA運動が、ここ鹿児島でもはじまることは、大変喜ばしく、心強く思うところです。

本市では「人とまち 個性が輝く 元気都市・かごしま」の創造を目指し、様々な分野の施策を展開しており、生涯学習体制の充実や環境施策の積極的な推進など、心の豊かさを実感できる社会づくりに努めております。

鹿児島YMCAでは「心豊かな人づくり」や「人と自然が共生できる地球環境づくり」などの使命を果たすために、鹿児島の文化や自然を生かした独自の活動に取り組まれるとうかがっており、本市にとりましても、地域社会を支える人材育成や快適なまちづくりに寄与していただけるものと大いに期待しています。

(司会者から紹介される、前列に座っている来賓=10月14日鹿児島市与次郎のみなみホール)

時代を拓くYMCAの役割

日本YMCA同盟理事長 中川善博さん



新たな都市YMCAがスタートしましたことは、九州地区のみならず、日本のYMCA運動にとりましても、大変喜ばしいニュースです。特に日本ではじめてキリスト教が伝わった

の地に、5世紀近くを経てYMCAが誕生したことは、非常に感慨深い思いがあります。

今、私たちの時代は経済の先行きの不透明感や、社会に広がる貧困や格差、日常化しているいじめや虐待、環境破壊による地球温暖化や自然災害の多発、超えがたい民族間の不信と断絶の世界など、さまざまな課題に直面していますが、私たちは次の世代にどのような世界を引き継ごうとしているのでしょうか。次の時代に何を伝え、次の時代の担い手をどのように育てていこうとしているのかが問われているような気がします。

19世紀のロンドンにキリスト教の精神に立って、世界最初のYMCAが設立され、以来、YMCAは青年の育成をその使命としてまいりました。日本においても青年の取り組みから、今日では幼少期から高齢期にいたる多世代の人たちの人的成長にかかわるはば広い活動を行っています。YMCAの活動はこのように人を育てることとともに、多くのボランティアがかかわっている点に特徴があります。鹿児島YMCAの設立も多数のボランティアの方々による献身的な努力があって、今日を迎えることができたことと思います。こうしたYMCAの人づくりとボランティアの力こそが、これからの市民社会の時代を切り開いていく役割を持っています。求められている役割や重大な使命を改めて自覚し、鹿児島YMCAが若い命を育てる働きと使命を大きく達成していくことを心から願っています。

同時に鹿児島経済界によるYMCA法人賛助会も始動開始!!

初の法人賛助会幹事社会議を開催 来年1月22日設立総会開催を決定

鹿児島YMCA法人賛助会幹事社の初会合は、11月24日(木)午前9時30分より鹿児島市の鹿児島銀行本店4階の会議室におこなわれました。

幹事5社からは、南国殖産理事田中秀一郎総務課課長、日本ガス黄檗敏宣総務リーダー、鹿児島銀行営業企画部加治屋美守主任調査役、セイカ食品原田浩幸総務部次長、そして薩摩酒造から執行役員の木口屋徳郎総務部長が出席。また

鹿児島YMCAから田上容正会長と谷村義博総主事事務取扱が参加しました。

田上会長から幹事社の担当者に感謝の言葉が述べられた後、谷村総主事(取扱)から会員勧誘の進捗状況の報告がありました。予想以上に、多くの地元企業がYMCA活動に理解を示し、事務方として運営に自信を深めている様子でした。

今後の設立までの日程について、年内いっぱい会員企業の募集を終了し、来年早々から活動開始を各社が確認しました。

活動開始にあたり、新年の1月22日に(金)鹿

児島サンロイヤルホテルにおいて、鹿児島YMCA法人賛助会設立総会の開催も決定。午後4時から、YMCAの研究者で元立教大学教授や平安女子学院学長で、多くの政府委員を歴任した坂口順治氏の講演会と、堤弘雄熊本YMCA総主事が「熊本YMCAと企業のボランティアの実例」のプレゼンテーションを予定しています。

その後、午後6時15分より、会員企業の初顔合わせを兼ねて、親睦会を催すこととなる。参加企業からは代表者、担当部署責任者および窓口担当者の参加を呼びかけていくとのことです。

スタッフ2名が研修会に参加。Yの精神を学ぶ

YMCA仲間の一員に ―― 第16回日本YMCA大会に参加して

鹿児島YMCA事務局 鬼丸 大佑



10月30日～11月1日の3日間、第16回日本YMCA大会が静岡県御殿場市の日本YMCA同盟国際青少年センター東山荘で行われました。全国からリーダー、学生、レイパーソン、スタッフ等、様々な年齢、性別、立場の異なる約140名ものYMCA仲間が集まりました。私は県外のYMCAについてあまり知識がなかったこともあり、鹿児島の外ではどんなYMCAの世界が広がっているのか知ることを目的に参加しました。

大会では、「昨日今日明日 つなげよう、YMCAの願い」というテーマで、約130年にもなる日本YMCAの歴史を振り返り、現在の活動を知ること、未来のYMCA運動へつなげて行こうという趣旨で講演会、プログラムが組まれていました。

大会では、各YMCAが自分たちの活動に関して発表をするプログラムがあったのですが、鹿児島Y

MCAも1時間のセッションを持たせていただき、鹿児島YMCAの紹介をし、参加者から個々の活動理念や大切にしていることなどの意見を聞かせてもらいました。「運営に関しては苦労も多いが、皆の成長していく過程をみることがうれしい」、「人と人との出会いが広がり、自分も成長出来た」という意見等、頑張れば頑張っただけ自分にもプラスに返ってくるという話を聞くことが出来ました。今回はまだ活動報告が出来ませんでしたが、次回鹿児島の活動報告をすることが楽しみです。

大会を通じ、YMCAとは一個人だけで行う活動ではないのだと実感できましたし、なにより個々がやりがいを持ってやっていることに感銘しました。「私もこれからYMCA運動を頑張ろう!」というパワーをもらいました。各YMCAの仲間からも「これから頑張ってください」という言葉を頂きましたし、人の持つ温かさを交流の中で感じ取ることができました。YMCAの一員になったのだという喜びでいっぱいでした。本当に参加出来てよかったです。

YMCAは「人と人とのつながりを大切にし、平和で温かい心を持った人を育てる」ところです。鹿児島ではYMCAはまだまだ知名度は低いですが、やる気のある鹿児島YMCAを自分たちで作っていけば、どんどん発展させることができると思います。それこそがYMCAなのだと感じています。今後、鹿児島YMCAの発展に尽力していきたいと思えます

多くの素敵な仲間と出会い、また語り明かした「秋季三水会」

鹿児島YMCA事務局 新内 博之

秋深まる阿蘇で、11月5日、6日熊本YMCAキャンプ場にて、中国・九州地域から集まったYMCA職員22人が集まり、「秋季三水会」が開催され、鹿児島から谷村総主事事務取扱と共に参加させていただきました。

今回の三水会ではグループワーク研修という目的のもと、2日間にわたり坂口順治先生によるグループワークについて研修してまいりました。坂口先生は文学博士として教鞭をとられ、平安女学院大学学長や日本生涯教育学会会長を歴任された方です。YMCAとの関わりも深く、東京YMCA総合研究機構や国際ボランティア学会の設立に中心となってご尽力され、2008年5月に東京YMCA名誉会員に推挙された経歴をお持ちです。

さて、今回の研修では、坂口先生が「YMCA運動の原点はグループワークである」という趣旨のテーマで行なわれ、このことを深く考える機会となりました。「リーダーとしての心得」、「相互依存、相互独立の大切さ」、そして何よりも「相手を受け入れ理解する」ということを、ケーススタディ形式で経験し、他地域のYMCAの職員の方々と共にグルー

プワークについて学んできました。

坂口先生のお言葉によれば、今イギリスでYMCAが発足した産業革命の時代とが重なるそうです。都市集中化が進み、価値変革の中で、人間社会におけるグループの構造も変化していったそうです。地域社会の崩壊が叫ばれ、地域住民同士とのつながりが希薄になってきたイギリスでYMCAが起きた時代と、現代の私たちの住む社会の状況が酷似しているという話しが納得できます。

したがって、グループワークを通じて人と人をつなげていくことが、鹿児島YMCAが果たすべき役割のひとつではないかと、この研修を終えて印象に残りました。

これから様々なプログラムを実践していく中で、この研修で得た知恵・知識を反映させ、鹿児島の人々にとって必要とされるYMCAを目指し、そして会員の皆様にご奉仕させていただくことが、これからの自分の課題だと考えています。

最後に、創立したばかりの組織にも関わらず、私たちが研修に費用を負担し、参加させてくれた役員の方々に感謝します。



谷村 義博

総主事事務取扱
代表理事

「発刊のあたり思う」

「そんな無茶な。会報を毎月出す?」「月報と切り切ったいいの?」「出来たばかりのYMCAなのに、そんなにネタがあるの?」「忙しい。忙しいといってる人が本当?」「書き手はいるの?」とネガティブな心が自分にささやく。

「会費を払っていただいている人は、お金だけ取られて何をしている分からないのヨ」「情報を流さなければ、Yは何をしているか知る方法がないのヨ」「どうしたらボランティアに参加できるのヨ」「きちんと会員を満足させないと、来年更新してもらえないヨ」とささやいてくれる、ポジティブという天使。

根が楽観主義者。ハイ、月刊で出すことにした。「勝算は?」「あります!」。

忘れていました。YMCAはボランティアの集団であることを。人材は豊富です。さっそく網に引っかかったのが、東京に本社のある三大紙の元記者。本号は準備不足のため彼女が十分に腕を、イヤ筆をふるえなかったが、徐々に編集者の本領が発揮されるだろう。

さらに書き手もいた、いた。地元の文芸誌「随筆かごしま」の常連も何人か。さっそくYMCAだから原稿料なしで交渉しよう。

最後には奥の手がある。地元南日本新聞は共同通信社から配信を受けている。本紙もそうしよう。YMCA日本同盟から「The YMCA」という月刊誌が送られてくる。世界の情報が結構ある。これは外信ネタとして使える。他の都市YMCAが発行するニュースは各地の便りとして利用させてもらえる。でも、これって請求書が来るのだろうか?

こんな聖書の言葉浮かんできた。「だから、明日のための心配は無用です。明日のことは明日が心配します。労苦はその日その日に、十分あります。」(マタイ書6:34)

天文館で年末の街頭募金

鹿児島で初めてのYMCA国際協力募金

鹿児島YMCAと鹿児島ワイズメンズクラブの共催。YMCAインターナショナルスクールのPTAと子どもたち。ボーイスカウト鹿児島22団が参加します。

柳正保さんが秋の藍綬褒章を。鹿島友義さんが理事長の「いのちの電話」が南日本文化賞を受賞

政府が発表した2009年度秋の藍綬褒章を、鹿児島YMCA会員で常議員の柳正保さんが受賞されました。公共の利益に貢献された人をたたえる藍綬褒章に、トヨタの渡部元社長や石坂日本レコード協会会長を始め、並み居る経済人のなかに柳さんの名がありました。

柳さんは長年にわたり、鹿児島の業界をリードする測上印刷株式会社を経営され、同時に現在6期のわたり鹿児島県印刷工業組合の理事長として、業界の発展に務められています。

11月10日、授賞のため正子夫人と共に皇居を訪れた柳さんは、お言葉をいただいた印象を控えめに話されました。「もちろん初めて皇居で天皇陛下にお目にかかったわけですが、国民をまるで子供のように、慈愛に満ちた表情でご覧になられるのに感動しました」

2つ目のおめでたいニュース。自殺防止を目的に悩みを抱えた人と電話で向き合うための「鹿児島いのちの電話協会」が、第60回南日本文化賞社会福祉部門を受賞されました。この団体は鹿児島市医師会長でもある鹿島友義さんが理事長を務めています。また、鹿島さんは鹿児島YMCAの会員であると同時に、設立に尽力した常議員会副議長でもあります。

さらに「鹿児島いのちの電話協会」の、YMCAの会員は鹿島さんだけでなく、理事に同じく常議員の弁護士野田健太郎さん、牧師の麦野賦さんが、地域の悩む人々のために向き合うボランティア活動を支えておられます。

このようにして社会に大きな貢献をしている人が、私たちと同じYMCA会員の一人であることは大変な誇りであり、心からお祝いを申し上げます。



初のYMCAミニ・コンサート

YMCA設立後、最初のコミュニティー向けイベント、下荒田のYMCAインターナショナルスクールオートリウムで開催され来場者に喜ばれました。

10月6日(水)午後6時から開かれた「秋のミニ・コンサート」に、アメリカのカリフォルニア州から来鹿したリチャード、ルース・ベック夫妻が出演し、本場のカントリーミュージックとブルースに、多くの人が魅せられ拍手と体でリズムをとっていました。

ベック夫妻は、だれからの支援も受けず個人で音楽を通して、キリスト教の宣教活動をしています。すべての聖書の言葉をカントリーミュージックに仕立てられたユニークなコンサートでした。

参加者のひとりには「こんな音楽が聞けるのなら、私もきつと教会で行くでしょうね」と語り、また好評に気を良くしたベック夫妻は「ぜひ来年も鹿児島に来ます」と約束をして会場を後にしました。



愛に満ちあふれた国際教育の場

2010年度

園児募集

YMCAインターナショナルスクール

鹿児島市下荒田2-39-22 ☎099-285-0700 www.kagoshima-ymca.org



創立式典のお心遣い、紙面でお礼に代えさせていただきます

<ご祝儀> 日本YMCA同盟理事長 中川善博様 / 長崎YMCA 三矢泰秀様 / 和歌山YMCA理事長 神谷尚孝様 / 福岡中央ワイズメンズクラブ様 / 熊本ひがしワイズメンズクラブ様 / 熊本にしクラブ会長 水元裕二様 / 熊本みなみワイズメンズクラブ様 / 熊本むさしワイズメンズクラブ様 / 宮崎ワイズメンズクラブ様 / 鹿児島ワイズメンズクラブ様 / ワイズメンズクラブ国際協会西日本区九州部様 / 鹿児島三育小学校様 / 水元裕二様 / 鈴木健司様 / 千葉西御建田勝郎様 / ワイズメンズクラブ国際協会西日本区阪和部様 / 東京江東ワイズメンズクラブ 藤井寛敏様 / 神戸学園都市ワイズメンズクラブ 藤井久子様 / 大阪泉北ワイズメンズクラブ 遠藤道寛様

<祝電・お花> 福岡YMCA理事長 齊藤皓彦様 / 和歌山YMCA理事長 神谷尚孝様 / 和歌山YMCA総主事 井之上芳雄様 / 山梨YMCA理事長 鈴木健司様 / 山梨YMCA総主事 大和田浩二様 / 神戸YMCA理事長 武田寿子 / YMCA総主事 水野雄二様 / 千葉YMCA理事長 倉石昇様 / 千葉YMCA総主事 青木一芳様 / 奈良YMCA理事長 林秀彦様 / 奈良YMCA常議員会議長 徳田健様 / 奈良YMCA総主事 藤井辰男様 / 名古屋YMCA理事長 野村秋博様 / 名古屋YMCA常議員会議長 川本龍資様 / 名古屋YMCA総主事 加藤明宏様 / 博多オーシャンワイズメンズクラブ会長 是永昌司様 / 鹿児島銀行取締役頭取 永田文治様 / 燦葉出版社 白井隆之様 / 前衆議院議員 保岡興治様 / 同志社大学校友会鹿児島支部長 小正芳史様 / 元学生リーダー代表 市川雪絵様 / KYIS PTA 渡邊健二様

鹿児島YMCA 会員の皆さまへ

Merry Christmas & Happy New Year

- | | | | |
|------|--------|-----|--------|
| 会長 | 田上 容正 | 常議員 | 日笠山 大介 |
| 副会長 | 中松 禎夫 | 常議員 | 麦野 賦 |
| 議長 | 徳田 穰 | 常議員 | 柳 正保 |
| 副議長 | 鹿島 友義 | 常議員 | 山本 清洋 |
| 代表理事 | 谷村 義博 | | |
| 常議員 | 揚村 恭弘 | | |
| 常議員 | 伊東 紀子 | | |
| 常議員 | 上川路 長生 | | |
| 常議員 | 神村 浩 | | |
| 常議員 | 黒木 日都美 | | |
| 常議員 | 佐藤 高広 | | |
| 常議員 | 田辺 征一 | | |
| 常議員 | 野田 健太郎 | | |

皆さまにとって
すばらしい年で
ありますように
祈っています。



Welcome Aboard 新会員

Jana Baranva / Adam Kastiro / Danielle Petite / Beltran Rezol / Necitas Rezol / Allen Stoltenberg / Stoltenberg Regina / Janet Ueese 秋山名緒美 荒木潮彦 有馬学 飯田博 池田修三 伊地知町子 伊集院ヒサ子 伊藤もと子 井邊涼子 伊牟田比呂多 入佐敦明 岩切格 遠城正子 大久保誠 大久保匡敏 大久保理絵 大島明美 大島功治 大塚由香 沖野秀一郎 小倉節男 小浜至徳 遠城邦雄 遠城美乃里 柿園光恵 神川千彦 神園征 神村京子 神村浩策 神村竜也 川田代朋子 川田代孝泰 黒木日都美 黒木勇次 小林葉子 御領敏博 コルトワ稲子 サイモン・セパン 佐土原博親 鮫島恒一郎 鮫島論子 鮫島隆光 鮫島照代 重久郁子 重久修一 重村敏広 島田龍太郎 白坂耕一 白坂代 菅玲子 曾山聖子 田口堅吉 竹迫清 谷口麻子 田上

寛容 田上那枝 田上道子 田畑研一 田畑恵 田村博子 辻紀子 徳永順子 徳永侑里子 富ヶ原由美 長友織江 長野力 長野穂子 長濱奈美 中村瞭造 名越幸子 名越駿三 七枝敏洋 西本佳代 野田順造 橋口馨 橋口隆典 肥後亮太郎 肥田木康正 吹留陽子 福元和久 渡邊健二 福岡ひとみ 福元由美 藤島みどり 本田正幸 牧瀬直子 松山澄寛 三隅かおり 宮尾真美 宮里一郎 村上光信 坂元昭宏 山崎弘喬 山下秋厚 吉元信江 脇川征子 伊地知隆則 伊東一則 岩重昌勝 岩元義弘 浦田俊郎 遠城道雄 大野健三 鬼丸大佑 迫口幹子 上蘭登志子 神谷尚孝 川上安生 木藤剛 窪雅孝 児玉裕一 小山茂 佐藤高広 三瓶光春 重村和久 徳永春義 長野さおり 長野節代 長濱歌都子 中堀清哲 中松禎夫 中松穂子 新留和彦 前田城輔 脇野兼四郎 有村美緒子 小笹美夜子 園屋高志 田辺征一 林富美 長瀬邦彦 宮之原明子 宮之原英樹 伊東祐久 白井隆之 田上容祥 野田健

太郎 服部巧 日笠山香奈 麦野賦 柳正保 伊東紀子 鹿島友義 日笠山大介 上川路長生 神村浩 岩崎新一 Karin Tanimura 田上容正 徳田穰 谷村義博 久永裕司 Kent Baran 秋山碧央 伊集院真央 伊藤大朗 大久保花那 大久保海佑 大島千典 大島夕奈 遠城健吾 神川和也 神川耕一 川田代家依 川田代航汰 黒木理梨華 郷原あかり 小林正宗 サイモン・メイ 坂元孝成 鮫島光毅 鮫島菜希 鮫島紗悠 鮫島久諒 福元和輝 重久友里 菅慶太郎 菅理香子 重久史帆 曾山結衣 曾山侑人 谷口聖 田畑早彩 田畑萌 田村愛瑠奈 富ヶ原開 長友らら 西本佳生 藤島ひかり 橋口兼征 吹留慎ノ介 吹留佑 日笠山麗来 日笠山円来 肥後稔馬琉 肥後寅馬琉 肥田木理央 牧瀬晋太郎 三隅颯太 三隅玲那 宮尾恒輝 宮之原清華 吉元美羽